様式第６号

施策評価表

評価対象年度	平成 28 年度
１次評価日（課長等）	29 年 10 月 1 日
２次評価日（部長等）	29 年 10 月 4 日

１ 施策の概要

施策名	商業の振興				コード	2-1
この施策の主な内容（細施策）	(1)にぎわいのあるまちづくり (2)商業環境の整備 (3)商業者・関係団体の育成強化					
第４次総合計画におけるこの施策の目的	個性的で魅力ある個店の育成、商店街の振興を図る。					
担当部課	部	産業振興部	課等	商業観光課	作成者	師岡　竜也

●施策の実施内容（DO）

２ 施策指標の達成状況

＊第4次総合計画における目標指標の達成状況（最終年度：30年度）

	施策指標名	単位	26年度 実績値	27年度 実績値	28年度 目標値	28年度 実績値	28年度 達成率	29年度 目標値	30年度 目標値
①	商業会等会員数	店	245	245	280	283	101.1%	285	290
	指標説明	市内の空き店舗などを活用し商業施設などを出店する場合、各商業会に加盟するため会員数の増に繋げる。							
②							#DIV/0!		
	指標説明								
③							#DIV/0!		
	指標説明								

３ 施策全体にかかる合計コストの推移

＊項目6より「直接事業費」「人件費」の合計を自動表示　　単位：千円

	26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
直接事業費	320,297	336,726	251,400	257,887
人件費	31,440	29,520	29,520	29,520
合計コスト	351,737	366,246	280,920	287,407

●施策の評価（CHECK）

４ 施策の現状評価

＊28年度に施策の目的がどこまで達成できたか、施策の進行状況に関する順調／不調の判断

大型商業施設の出店など商業環境が大きく変わる中で、空き店舗への出店改修費や家賃の助成により１２件の新規出店があり空き店舗の解消が図られた。
一方で、既存商業者には経営者の高齢化や後継者問題があり、個店の魅力づくりや商業組織の強化が進まない状況にあった。しかし、平成28年度に出店した大型商業施設に集客力があることから、周辺商業会との共存共栄を図っていくため、岡谷TMOが中心となり、イベント等の連携事業を中心市街地で実施し、徐々にではあるが、一部の商業者の中に積極的に取り組む機運が高まりつつある。

＊岡谷市の現状のうち、この施策にとって強み／弱みとなる要因

岡谷市の強み	商工会議所と連携した岡谷TMOによる中心市街地活性化とコンパクトな街の利便性がある。
岡谷市の弱み	経営者の高齢化と後継者問題から事業継承が難しくなっている。

５ 今後の外部環境の変化

＊29年度以降に予測される社会・経済などの環境変化のうち、この施策に具体的に影響する要因

有利に働くもの	まちなか観光の推進や大型店との連携による商業イベントの人出により、新たな誘客による商業への波及効果が期待できる。
不利に働くもの	長期的な消費の低迷が懸念される。

●改善の内容（ACTION）／次年度の計画（PLAN）

6 平成30年度　施策を構成する事務事業の方向性

●基本的な考え方

＊優先して実施する分野＝優先度がA・Bの事業：拡大する事業や新規事業の内容、優先的に実施する理由
＊見直しを行う分野　　＝優先度がC・Dの事業：見直しの内容、見直しや廃止をする理由

優先して実施する分野	大型商業施設に集客力があることから、消費者の皆様に、市内商店・商店街へ足を延ばしていただくためのPR等の実施。また、意欲的な若手経営者が店を展開し継続出来る環境づくりが必要であり、魅力ある店舗づくりと商店街の組織も含めた活性化を図る。
見直しを行う分野	商業会の組織の弱体化や担い手不足から、沈滞ムードとなっているため販売促進をより効果的なものとするため、岡谷TMOとともに検討する必要がある。また、商業組織のあり方についても、今後の商業環境の変化に対応できる体制への見直しの検討が必要となっている。

●30年度の優先度

＊方向性が「継続」の事業についてA～Cを、「新規事業」の事業についてAをランク付け。方向性が廃止、完了、統合となっている場合は「-」を付ける。

直接事業費・人件費の単位：千円

No	新規事業	様式	実施義務	事務事業名	成果指標 指標名	成果指標 単位	成果指標	直接事業費	人件費	妥当性	方向性	優先度
							26年度	26年度	26年度			
							27年度	27年度	27年度			
							28年度	28年度	28年度			
							29年度	29年度	29年度			
1		公共施設	なし	イルフプラザアミューズメント施設管理事業	ミーティングルーム稼働率	%	19.9	7,774	3,280	高い	継続して実施	B：現状維持
							17.2	7,587	3,280			
							18.6	7,437	3,280			
							20.0	7,620	3,280			
2		公共施設	なし	中央町市営駐車場管理事業	施設稼働率	%	100.0	27,771	3,440	標準	継続して実施	B：現状維持
							100.0	26,913	3,440			
							100.0	25,027	3,440			
							100.0	27,045	3,440			
3		公共施設	なし	イルフプラザ管理事業	施設稼働率	%	100.0	183,156	5,520	高い	継続して実施	A：拡大
							100.0	135,092	5,520			
							100.0	126,805	5,520			
							100.0	127,931	5,520			
4		公共施設	なし	ララオカヤ施設管理事業	施設稼働率	%	100.0	58,569	6,080	標準	継続して実施	B：現状維持
							100.0	57,076	6,080			
							100.0	56,123	6,080			
							100.0	57,697	6,080			
5		一般	なし	商業振興事業	補助金利用店舗数	店	23	38,296	7,200	標準	継続して実施	A：拡大
							16	105,678	7,200			
							16	30,556	7,200			
							16	32,740	7,200			
6		一般	あり	中心市街地活性化事業（岡谷ＴＭＯ運営事業負担金）	まちゼミ参加店舗数	店	23	4,301	1,600	高い	継続して実施	B：現状維持
							23	3,950	1,600			
							26	5,022	1,600			
							24	4,354	1,600			
7		一般	なし	蚕糸業対策事業	シルクフェア来場者数	人	1,750	430	4,320	標準	継続して実施	B：現状維持
							1,828	430	2,400			
							1,016	430	2,400			
							1,595	500	2,400			
8												
9												
10												